

# Re-Design LOCAL

増田寛也

3.25 WED

REAL/ONLINE EVENT

安宅和人

## PROGRAM

16:00-16:05 INTRODUCTION

16:10-17:00 SESSION 1

100年後、この国が残る方法とは。「地域生活圏」がつくる未来

17:05-18:00 SESSION 2

もしも企業が地域経営に参画したら？ 自治体とビジネスの「公開共創」

18:00-19:00 NewsPicks主催名刺交換会 ※会場参加限定

日時 2026年3月25日 (水) 16:00-19:00

形式 リアル・オンライン 同時開催

申込締切 2026年3月24日 (火) 23:59

参加費 無料(事前申込制)

場所 TODA HALL & CONFERENCE TOKYO (東京・八重洲)

定員 会場150名 ※オンライン参加の定員なし

主催

共催



# PROGRAM

16:10-17:00 SESSION 1

## 100年後、この国が残る方法とは。「地域生活圏」がつくる未来

テクノロジーと民間の力を活かし、生活者目線で地方を再設計する「地域生活圏」。国交省が掲げる新構想は、地方を救うことができるのか。

「地方消滅」を指摘し、現在は地域生活圏を推進する増田寛也氏と、「風の谷」を掲げる安宅和人氏。両者の視点から、いまの地方が抱える課題と、テクノロジーと自然が共存する地方の未来像を探る。



安宅和人

慶應義塾大学環境情報学部 教授  
LINEヤフー株式会社 シニアストラテジスト  
一般社団法人「残すに値する未来」代表理事



増田寛也

令和国民会議(令和臨調)共同代表  
未来を選択する会議 共同代表  
野村総合研究所 顧問

モデレーター: 呉琢磨 (NewsPicks 執行役員 Brand Designクリエイティブ統括)

17:05-18:00 SESSION 2

## もしも企業が地域経営に参画したら? 自治体とビジネスの「公開共創」

交通、医療、空き家問題——

自治体だけでは解決できない課題が山積する中、ビジネスの知見はいかに真価を發揮するのか。

テクノロジーによる多角的なアプローチや、官民連携による事業モデルの最適解を徹底議論。

「地域生活圏」を単なる理想像に終わらせず、どう実現すべきか、実装への道筋を構想する。



高橋博之

株式会社雨風太陽  
代表取締役社長



畠山洋平

株式会社博報堂  
地域共創プラットフォーム事業推進局局长



伊藤聡子

キャスター  
事業創造大学院大学客員教授



大坪秀幸

北海道厚真町役場  
理事(地方創生担当)

モデレーター: 山本雄生 (山と本と株式会社 代表取締役 / POTLUCK YAESUプロデューサー / NewsPicksビジネスプロデューサー)

こんな人に  
おすすめ

地方を舞台にしたビジネスに挑みたい  
大企業やスタートアップ

新しい地域経営について  
思考を巡らせたい方

自社の知見を地域に還元したい  
ローカル企業

現場の「最適解」を導き出したい  
自治体担当者やプレーヤー